

平成 26 年 8 月 29 日
九州地方整備局
川辺川ダム砂防事務所

大規模な土砂災害による崩壊箇所や河道閉塞箇所の緊急対策のため、九州地方整備局管内で初のヘリコプターによる建設機械（分解組立型バックホウ）の輸送実証試験を行います。

国土交通省九州地方整備局では、東日本大震災や紀伊半島など大規模災害を教訓とした災害対応能力向上のため各種の取組みを行っています。

深層崩壊による大規模な土砂災害が発生した場合には、道路が崩壊・途絶することも多く、陸上からたどり着けない現場に、緊急対策のための建設機械等を送り込む必要があります。

このため、平成 26 年度 九州地方整備局 防災訓練の一環として、国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所では、九州技術事務所が保有する**分解組立型バックホウをヘリコプターで輸送する実証試験**を行います。

記

○日 時：H 26. 9. 1（月） 12：00～15：00
（雨天や霧等でヘリ運航ができない場合は延期）

○内 容：ヘリコプターを用いた分解組立型バックホウ（1m³）の輸送試験
（輸送距離約 6km）

○場 所：球磨郡水上村 市房ダム管理地（汗の原親水公園の対岸広場）

お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所 【訓練全般に関すること】

技術副所長 満崎 晴也（みつざき せいや）

工務第二課長 原田 隆二（はらだ りゅうじ）

電 話 （0966）23-3174（代表）

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所 【建設機械に関すること】

技術副所長 石田 直己（いしだ なおみ）

火山防災減災課長 坂井 佑介（さかい ゆうすけ）

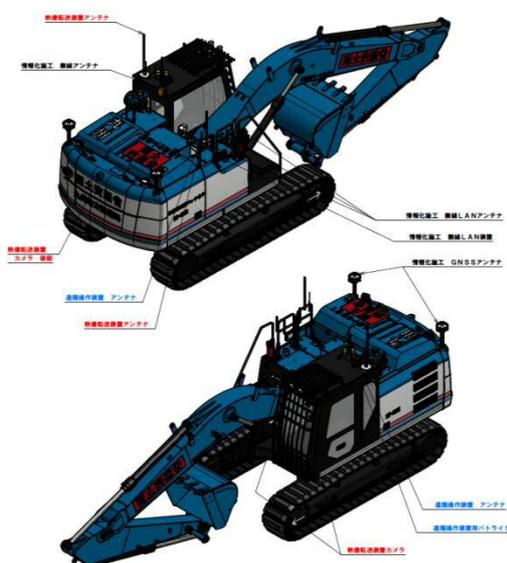
電 話 （0942）32-8245（代表）

ヘリコプターによる建設機械の輸送実証試験スケジュール

日 時 : H26. 9. 1 12:00~15:00

時 間	実 証 試 験 内 容
12:00 ~ 13:00	ヘリ到着、パイロットとのブリーフィング 場所: ①市房ダム管理地
13:00 ~ 13:30	ヘリによる輸送実証試験(往路) (輸送距離 約6km) ①市房ダム管理地 → ②しゃくなげ公園
14:10 ~ 14:40	ヘリによる輸送実証試験(復路) (輸送距離 約6km) ②しゃくなげ公園 → ①市房ダム管理地

分解組立型バックホウ(1m³) 外観図



分解組立型バックホウ(1m³) 分割図

コンポーネント重量		
番号	コンポーネント名称	質量
1	センターフレームユニット	2,722kg
2	パワーユニット	2,598kg
3	キャブ・クーリングユニット	1,656kg
4	燃料タンク・ツールボックスユニット	800kg
5	カウンタウエイト下部	2,286kg
6	カウンタウエイト上部	1,644kg
7	走行フレーム左部	1,890kg
8	走行フレーム右部	1,890kg
9	ブーム ユニット	2,100kg
10	アーム・バケット ユニット	1,600kg
11	トラック及びトラックシューユニット 右部	1,890kg
12	トラック及びトラックシューユニット 左部	1,890kg
合 計		22,966kg

01. センターフレームユニット 02. パワーユニット

03. キャブクーリングユニット 04. 燃料タンク・ツールボックスユニット

05. カウンタウエイト下部 06. カウンタウエイト上部

07. 走行フレーム左

08. 走行フレーム右 09. ブームユニット

10. アーム・バケットユニット

11. トラック及びトラックシューユニット(右部) 12. トラック及びトラックシューユニット(左部)

ツールボックス

※赤囲みが今回輸送する3パーツ

ヘリコプターによる建設機械(分解組立型バックホウ)の輸送実証試験 位置図



— — — 飛行ルート(但し、当日の天候・風向きによって、変更の可能性があります)